

広報 あいづ ばんげ

2

No.654
2019

目次 -CONTENTS-

坂下初市 奇祭 大俵引き	2
大俵完成秘話	4
確定申告を忘れずに！	5
国保の窓口	6
食育だより No.10	7
まちの話題	8
新コーナー ばんげのこめらっ子 ・	
福島県の最低賃金が改正されました	10
図書室だより・町史編さん調査余話(18)	11
会津坂下町消防団出初め式・	
町内 26 店舗が消防団を応援します！	12
お知らせインフォメーション	13
こどもと健康の広場	16
幼稚園で団子さし	18



坂下初市 奇祭 大俵引き

東方(紅組)が勝利!! 今年は米の値段が上がる





福豆俵まき

365個の福豆俵がまかれ、拾うと一年間
五穀豊穡・商売繁盛・家内安全・無病息災
が得られると言われている



俵太鼓（安兵衛太鼓）が
初市の始まりを告げる



福餅つき
威勢良い掛け声とともに



新春富くじ抽選会
自転車当選



スポーツ少年団 東西対抗俵引き 東方（紅組）が勝利



福豆俵まきには、坂下小町とタワライガーも参加した



大俵引きには総勢一五〇名の引き子
が参加しました。三本勝負の結果、両
者引き分けとなり、四本目の勝負が行
われました。最後の熱戦を制したのは
東方（紅組）で、今年は米の値段が上
がるというご神託を得ました。

そのほか、福豆俵まきや福餅つき、
富くじ抽選会などの行事もにぎやかに
行われました。会津坂下町の更なる発
展を願う初市となりました。

坂下初市 奇祭 大俵引きが一月
十四日に行われ、今年一年の招福を願
い大勢の人たちが訪れました。

スポーツ少年団東西対抗俵引きで
は、一生懸命に俵を引く子どもたちの
声が響きわたり、祭りを盛り上げまし
た。

大俵完成秘話

作り手全員の力を 合わせて

【写真】大俵作りの指揮をとる桜木町の遠藤重夫さん。現場をまとめながら、若手二人に技術を伝えています。

昨年の十二月二十日、駅南倉庫にて、大俵の完成披露が行われました。大俵作りは十月頃から始まり、稲わらの乾燥や俵の縄^な綱^ないなどの作業が行われてきました。

二十日には、最後の仕上げとして大俵に太縄を巻きつけ、しめ縄を取り付ける作業が行われました。

九人の作り手によって息を吹き込まれた大俵。その完成の様子をお伝えします。

手作業に込められた 技術や努力

大俵は全て手作業で作られます。長年の経験を活かし、みんなで声を掛け合いながら作りあげます。

大俵は、その側面を囲うように三本の太縄を巻きつけます。完成披露では、最後の一本を巻きつける作業が行われました。

まずは、大俵の上に太縄で蝶結びの飾りを作成。輪の大きさやバランスを相談しながら結びます。

次に、大俵を左右に転がしながら太縄を巻きつけます。作り手の身長よりものはるかに大きい大俵を転がすのは大変危険な作業です。

「大丈夫?」「転がすよ!」とみんなで声を掛け合いながら転がします。

太縄を大俵に固定するため、針金の角度を調整しながら差し込みます。針金も全て手作りだそうです。



はみ出たわらを刈り、見た目を整える。細部まで手を抜かない。



大俵をみんなで押しながら転がす。安全を確認しつつ作業を行う。



蝶結びを作る。太縄は重く、根気のある作業である。

しめ縄・五穀を 取り付けて完成

最後にしめ縄や五穀（五穀豊穡を願って五種類の穀物を入れたもの）を取り付けました。五穀は毎年新しいものに取り換えており、前年と穀物の種類が違う時もあるそうです。

作り手の技術や愛情がいっぱいに詰まった大俵が完成しました。

作り手の努力が 祭りを支える

今年の坂下初市 奇祭 大俵引きも、多くの人で賑わいました。下帯一本の勇壮な引き子たちや、観客たちの声援。その中心で存在感を放っていた大俵は、九人の作り手が一意奮闘して作り上げた物でした。



玄米・キビ・大豆・小豆・粟の五穀が入っている。